

人権課題 障害のある人

障害のある人の理解を通して



- 1 教科等
中学校第2学年 総合的な学習の時間
- 2 単元名
障害のある人の理解を通して
- 3 単元設定の理由
本単元では、障害のある方々との交流事業を通して、障害について学び、その特性などの理解を通して、共に支え合えあう関係性の構築やこれから出会う人たちに分け隔てなく思いやりをもって接することができる生徒を育成したい。
- 4 単元の目標
 - (1) 障害者等地域自立支援協議会の方や障害のある方の講演を通して、自らの考えや意見をもつことができる。【主体・創造・協同】
 - (2) 障害のある人との関わり方について考え、現在の問題点を見つけ、改善方法を考えることができる。【問題解決・探究活動】
 - (3) 障害のある人との関わりを学ぶことで、今後の人間関係の構築について考えることができる。【自己の生き方】

5 単元の評価規準

主体的、創造的、協同的に取り組む。	問題解決や探究活動に取り組む。	自己の生き方を考える。
障害のある人との交流や障害について考える中で、意欲的に活動に取り組み、自らの考えや意見をもっている。	障害のある人との関わり方や、共に支え合える関係性の構築を目指して、現在の問題点や今後の改善点を考えている。	障害のある人との関わりを学ぶことで将来の人間関係の構築について考えている。

6 指導と評価の計画(全6時間)

小単元名(回数)	時	主な学習活動	評価規準及び評価方法
1 個性について	1	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の個性について考える。 ○個性によっては生きづらさを感じる状況があったり、それが障害とよばれたりすることがあることを理解する ○「あいサポーター」*について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の個性について考えている。 【自己の生き方】ワークシート ・障害のある人との関わり方を理解している。 【主体・創造・協同】ワークシート
2 チャレンジド交流事業*	1	<ul style="list-style-type: none"> ○学校行事のチャレンジド交流事業で、福祉施設の方の講演を聞き、身体障害、精神障害、知的障害について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身体障害、精神障害、知的障害などがどのような障害なのか、理解している。 【主体・創造・協同】ワークシート

	2	○元プロレスラー（試合中の事故で四肢麻痺となる）の講演を聞き、障害によって様々な不便さはあるが自分らしく生きていることを知る。	・講演から、自分の障害を受け入れ、自分らしく生きるために大切なことを考えている。 【問題解決・探求活動】ワークシート
3 障害について	1	○チャレンジド交流事業や講演を振り返る。 ○「バリアフリー社会のおもいやり」という冊子を用いて、様々な障害があることを知る。 ○障害のある人が日常生活で困る場面を考える。	・障害のある人が困りそうな場面を考えている。 【問題解決・探求活動】ワークシート
4 まとめ	1 本時	○共生社会を実現するためにあいサポーターとして気をつけることや、大切にしたいことを考え、障害の特性に応じて適切に支援する方法を考える。	・あいサポーターとして気をつけることや、大切にしたいことについて考えている。 【自己の生き方】観察・ワークシート ・障害の特性に応じて適切に支援する方法をあいサポーターとして具体的に考えている。 【問題解決・探求活動】観察・ワークシート

*チャレンジド交流事業・・・吉備中央町障害者等地域自立支援協議会が主催する行事で障害について学ぶ。

*あいサポーター・・・「愛情」の「愛」、私の「I」に共通する「あい」と、支える、応援する意味の「サポート」を組み合わせ、障害のある人を優しく支え、自分の意思で行動していく人

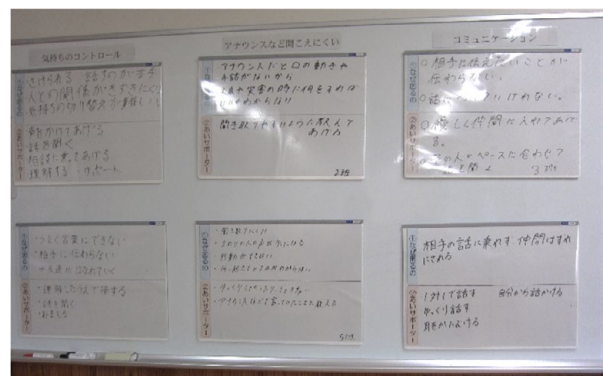
7 本時と人権教育

○障害の特性について考え、自他の価値を尊重しようとする意欲や態度を育てる。

【価値的・態度的側面】

○障害のある人との関わり方を学ぶことで他の人と対等で豊かな関係を築くことのできる社会的技能を育てる。

【技能的側面】



8 本時案

(1) 本時の目標

あいサポーターとして気をつけることや大切にしたいことを踏まえ、具体的な行動を考えることができる。

(2) 展開

人権教育の視点から特に重要なこと・・・★

学習活動	教師の指導・支援	学習評価
1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを知る。	○障害のある人がただ助けてもらうことを望んでいたかどうかをワークシートや講演会など前時までの学習から思い出させる。 ○「あいサポーター」について確認する。	
あいサポーターとして気をつけることや、大切にしたいことについて考えよう。		
2 障害のある人が日常生活で困る場面や、なぜ困る状況になるのかを考える。	○前時に生徒が考えた障害のある人(コミュニケーションをとることが苦手、感情のコントロールが苦手、耳が聞こえにくい)が日常生活で困る場面を提示し考えさせる。 ★学習班ごとに異なる場面を考えさせ、班内で多様な意見がでるよう個別に指導する。 ○どんな考えが出されたか、発表し、考えを共有する。	
3 自分の個性を生かしたサポートの方法を考える。	★困る場面の中から、人それぞれサポートの形は違うことを押さえながら、あいサポーターとして自分なら何ができるかを考えさせ、ワークシートに書かせる。	・あいサポーターとして気をつけることや、大切にしたいことについて考えることができる。
4 書いた内容を学習班で共有し、お互いにメッセージを書き合う。	★学習班で、ワークシートを見せ合い、サポートの方法についてお互いに肯定的メッセージを書かせる。 ○相手の個性を認めた声掛けをすることもサポートの一つであることに気付かせる。	【問題解決・探究活動】 観察・ワークシート
5 本時の学習をまとめる。	○これまでの学習を通して学んだことや感じたことを含めて本時の学習についてまとめられるようにする。 ○発表させ、全体で共有する。	
いろいろな特性を理解し、その特性を個性として認め合い行動することが大切である。		
7 本時を振り返る。	○ワークシートに記入し、発表させる。 ○一人一人が自分らしく生きていけるようお互いがサポートしていくことの大切さを確認する。	・あいサポーターとしてできることを具体的に考えている。 【自己の生き方】 観察・ワークシート

◎「おおむね満足できる」状況(B)と判断する生徒の姿の例

・これまでの学習を通して、あいサポーターとして自分のできることを考えている。

(ワークシート)

人権学習

()年()組()番 名前()

めあて

困る場面	
なぜ困る？	あいサポーターとして何ができるか
(個人)	
(班)	

自分なら何ができるか、具体的な行動を考えよう。

気持ちのコントロールが苦手	
アナウンスなどが聞き取りにくい	
コミュニケーションが上手く取れない	

メッセージをもらおう

サイン()	サイン()
サイン()	サイン()

まとめ

あいサポーターとして、

人権課題 インターネットによる人権侵害

正しく怖がり、 賢く使うインターネット



- 1 教科等
中学校第3学年 特別の教科 道徳
- 2 主題名
正しく怖がり、賢く使うインターネット A-(1) [自主・自律・自由と責任]
- 3 ねらい
SNS等で情報を発信・拡散する際、自分の発言や行動に責任があることを知り、その行為による影響を考え、正しく判断しようとする態度を育てる。
- 4 主題設定の理由
 - (1) ねらいや指導内容についての教師の捉え方
インターネットは便利であるが不確かな情報も多く、安易に情報を発信・拡散すると、誹謗・中傷等の被害、差別や偏見を助長することにつながる。本時は、情報の拡散希望に出会った場面を想定し、情報発信者として受信者のことを考え、その是非について討論し、情報の正確性や発信・拡散による影響等から正しい判断をすることの大切さに気づき、インターネットを賢く使おうとする態度を養いたい。
 - (2) これまでの学習状況
『スマホ時代の私たち～被害者にも加害者にもならない～』の講演会で、①誹謗・中傷、②ネット依存、③ネットの危険、④インターネット上での人間関係等、インターネットの便利さや怖さについて知識を深めた。
①誹謗・中傷と④インターネット上での人間関係では、日常会話とインターネット上の会話のメリット・デメリットについて考え、言葉の伝わり方と伝え方、そして、自分の発言や行動に責任をもつことの大切さを理解した。また②ネット依存については、講演会の中で深く掘り下げ、③ネットの危険については、文部科学省推奨の動画を視聴し、個人情報の流出で、自分自身だけでなく、周りにも被害が及ぶことに気づき、慎重な行動を取ることの大切さを学習した。
- 5 本時（本実践）と人権教育
インターネット上でのいじめ、誹謗中傷、トラブル等での加害者や被害者になる危険性が高まってきている中、自他を認め合い、支え合える人間関係の構築と学び合いをしていく中で、自分とは違う意見や考え方を共感的に受容できるようにする。
(技能的側面)

学習活動	主な発問と予想される反応	指導上の留意点
<p><導入></p> <p>1 本時のねらいを確認する。</p>	<p>○個人情報の取り扱い、言葉の伝え方について、大切にすることは何でしたか。</p> <p>・自分の発言や行動に責任をもつことの大切さ。</p>	<p>・前時までを振り返り、拡散を題材とした内容に取り組むことを知らせる。</p>
<p>『情報を見極める力』 ネット上の情報を正しく使うために大切なことは何だろう。</p>		
<p><展開></p> <p>2 拡散によって、助かった例を知る。</p> <p>3 拡散希望メッセージについて、自分ならどうするかを考え、グループ同士で討論する。</p> <p>4 討論を振り返る。</p> <p>5 自分の生活を振り返ってインターネットの情報にどのように接しているか考え、グループ内で共有する。</p>	<p>○この拡散希望メッセージは、SNSで拡散させるべきか、させないべきですか。</p> <p><拡散させる></p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急性を感じる。 ・困っていると思う（手助け）。 ・犯人を捕まえる。 <p><拡散させない></p> <ul style="list-style-type: none"> ・間違った情報かもしれない。 ・正しい情報なのか調べる。 <p>○今の討論はどうでしたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を押し通した。 ・勝つことばかりに気を取られ、冷静さを失った。 ・相手の意見をふまえて、答えることができた。 <p>◎授業で自分の発言や行動に責任をもつことや冷静になることの大切さを学んできましたが、過ちを繰り返してしまうのはなぜでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業と関係がないと思っていた。 ・そこまで深く考えなかった。 <p>○グループで話し合ったことや今日の討論、前回までの学習を思い出し、インターネットを使うときに大切なことは何だと思いましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しい情報ではなかった場合、傷つく人がいると想像すること。 ・情報を見極める力の大切さ。 	<p>・講演会で聞いた拡散した情報に助けられた人の話を思い出させる。</p> <p>・自分の意見をグループ内で発表し、反対派の意見を予測し、その反論も考え討論の準備を行わせる。</p> <p>・相手を納得させることの大切さを伝える。</p> <p>・相手の意見を聞くよう指示する。</p> <p>・感情的にならないよう伝える。</p> <p>・拡散させる派、拡散させない派の順番で意見をホワイトボードに掲示し討論を開始させる。</p> <p>・冷静に先程までの討論を思い出させる。</p> <p>・討論等を踏まえ、自分のこととして考えさせる。</p> <p>・グループで共有させる。</p> <p>★友達の意見を聞き、同じ意見や違う意見があること、様々な考えがあることに気付かせる。</p> <p>・ワークシートに記入させる。</p>
<p><終末></p> <p>6 本時の振り返りをする。</p>	<p>○学習を振り返り、自分の今後の行動について考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段の生活から、自分自身の発言や行動に責任を持ち、どんな状況でも冷静な判断をしていきたい。 	<p>★学校や家庭での言動を見直し、今できることは何か考えさせる。</p>

評価の視点

- ・インターネット社会において、自分の発言や行動に責任をもち、自分がどうすべきかを相手の立場に立って冷静に正しく判断することの大切さについて考えることができたか。

(ワークシート)

情報を見極める力

～ネット上の情報を正しく使うために大切なことは何だろう…～

()年()組()番 名前()

○拡散希望のメッセージを読んで、あなたはどのように思いますか。

自分なら…(拡散させる ・ 拡散させない)

なぜ?

○繰り返してしまうのはなぜだろう…?

○インターネットを使う時、大切なことは何だと思いますか?

○これまでの学習の振り返り・今後の行動について…